

Title	第70巻第1号-第6号 総目次：昭和52年
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1977
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.70, No.6 (1977. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19771201-0125">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19771201-0125</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第70巻 第1号~第6号 総目次 (昭和52年)

千種義人教授退任記念特集号

論 説	号	頁	通頁	
存在問題の再考察……………	福岡正夫	2	1	127
長期財政乗数についての覚え書……………	大熊一郎	2	12	138
競争と独占……………	富田重夫	2	17	143
忘れ去られていた数理経済学者——Giovanni Battista ANTONELLI——……………	松浦保	2	30	156
危険回避と企業の資金調達計画……………	神谷傳造	2	53	179
所得分配の平等とその評価……………	川又邦雄	2	67	193
市場経済の定式化について……………	長名寛明	2	83	209
新古典派的投資理論について……………	田中宏	2	94	220
公共財部門における不均斉成長……………	山田太門	2	105	231
調整費用と企業の投資行動……………	宇佐美泰生	2	118	244

論 説

比較静学と定性経済学II……………	福岡正夫	1	1	1
明治の社会主義(3)……………	飯田鼎	1	37	37
明治国家の思想としての「文明開化の特権」について……………	田中明	1	51	51
分権的交換過程と支払手段としての貨幣……………	浜田裕一郎	1	69	69
Convex Analysis の二、三の進展について……………	丸山徹	1	97	97
第1次大戦中のイギリスにおける労働政策と社会政策 ——いわゆる「稀薄化」政策について——……………	飯田鼎	3	1	255
第三帝国における予算政策……………	大島通義	3	21	275
労働貴族の古典的時代におけるフロントガラス製造工(その1)……………	松村高夫	3	41	295
選好パラメタ「完全決定法」についての統計理論 ——古典的二財モデル——……………	松野一彦	3	55	309
中間財・非貿易財を含む貿易モデルと輸入関税の諸効果……………	馬田啓一	3	80	334
初期労働運動における共済組合とストライキ団体 ——労働組合期成会の意義と役割——……………	飯田鼎	4	1	407
農業集団化の現段階と「経営体間協業」・「工業式農業統合」I……………	平野絢子	4	22	428
明治30年代における労働運動と知識人(上)……………	飯田鼎	5	1	497
労働貴族の古典的時代におけるフロントガラス製造工(その2)……………	松村高夫	5	22	518
友愛会の成立の歴史的意義——その共済組合とストライキ団体の矛盾——……………	飯田鼎	6	1	581
ヒルファディングにおける貨幣と信用——『金融資本論』分析・序説——……………	飯田裕康	6	18	598
経済分析における時間要素——分布ラグの視点から——……………	養谷千鳳彦	6	32	612

資料・研究ノート

自由と組織……………	青沼吉松	3	95	349
------------	------	---	----	-----

独占資本主義と恐慌・産業循環——レーニン『帝国主義論』—— を手がかりとして	水谷良夫	3	104	358
アメリカにおける共同体(続)	白井厚	3	117	371
分配の外部性——パレート最適 分配の意義	横山彰	3	128	382
スウェーデンの選挙と福祉(I)	飯野靖四	4	51	457
宇野派恐慌論の一検討——伊藤誠『信用と恐 慌』をめぐって	清水正昭	4	63	469
播磨期のフランス社会保険立法——1910年労働者農民 老齢年金法の制定	中上光夫	5	40	536
英国商務省「産業民主主義調査委員会報告書」 ——いわゆる「パロック報告」について(I)——	飯田鼎	5	52	548
確率測度の*弱収束——均衡分析への 応用のために	丸山徹	6	53	633
マルサス『「人口論」に関する一考察——「人口論」か ら経済学へ——』	鶴岡慶	6	67	647
ナチス後期における労働政策とその実態に関する社会史的考察 ——1936年から1938年6月まで——	矢野久	6	80	660
青年時代の鈴木文治——本間俊平とのかか わりを中心として	吉田千代	6	94	674

### 書 評

M. デサイ『応用計量経済学』	蓑谷千鳳彦	1	120	120
フランク・ブレッキング著『投資と雇用の決定』	宇佐美泰生	1	123	123
F. Fekete, E. O. Heady 及び B. R. Holdren 著 『集団農場の経済学——ハンガリーにおける その目標と最適条件	平野絢子	3	140	394
L. L. パンネッティ『成長と所得分配』	神谷傳造	3	144	398
満州移民史研究会編『日本帝国主義下の満州移民』	松村高夫	3	147	401
大原慧『幸徳秋水の思想と大逆事件』	飯田鼎	4	77	483
酒井一夫著『インフレーションと管理通貨制』	飯田裕康	4	80	486
Robert A. Kann, A History of the Habsburg Empire. 1526-1918	倉田稔	4	83	489
増山太助『読売争議』	猿田正機	4	86	492
中村政則編『大系・日本国家史』第4巻(近代I)・第5巻(近代II)	尾城太郎丸	5	64	560
ハインリヒ・ワインシュトック著 榎山欽四郎・小西邦雄訳 『ヒューマニズムの悲劇——西洋的人間像に おける真と偽	葛木能雄	5	72	568
ジェームズ・ヒントン『最初のショップスチュワード運動』	三井逸友	5	75	571
入江昭著『アジアにおける冷戦——歴史的 序説	安原洋子	5	79	575
小谷義次著『現代福祉国家論』	飯野靖四	6	106	686
ミカエル・ブリーナー著『過少消費説——歴史と批 判的分析	中宮光隆	6	109	689
戸塚秀夫・徳永重良編『現代労働問題——労資関係の歴史 的動態と構造	大森直紀	6	113	693